

「イノベーションと産業・経済」

「20世紀は極端な世紀であった」と、英歴史家のE・H・ポームは看破した。良い悪いではない。良くも悪くも極端だったというのだ。では、21世紀は？ 識者の多くは「イノベーションの世紀である」と推論する。新機軸、技術革新、破壊と創造…等々。とはいうものの経済は、社会は、政治は、どう変わるのだろうか。もし、未来が見えるなら、企業経営や人生設計には大きな力となる。2050年に向けて多くの予測本が刊行されている。AIだIoTだと嬉しい。いずれも佳作ではあるが、どうも実感が伴わない。だが、それ以前に日本では、多くの大企業で考えられないような経営上の蹉跌が繰り返されている。一方、米国ではイノベーションによって企業作り替えに成功した事例や、技術革新による新事業・ビジネスが生まれている。本セミナーでは、企業経営者、ジャーナリスト、研究者の夫々の立場から、米国での実情を含め、グローバルな視点からの具体論を示し、議論の礎とする。大学関係者各位のご参加をお待ち致します。

●日時：2018年2月15日(木)

●場所：電気通信大学 創立80周年記念会館
3階フォーラム

参加費：3,000円(資料代、飲み物代を含む)

事業協力会会員・学内教職員・学生・は無料

申込み：本センターのホームページから申込みフォームで
ご登録ください

<http://www.crc.uec.ac.jp/pickup/seminar/111.html>

アクセス <http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/>

企画：電気通信大学 産学官連携センター 特任教授 千野 俊猛

プログラム

- | | | | |
|--------------|--|---------------------------|---------|
| ■14:00～14:05 | 開会挨拶 | 産学官連携センター長 | 田村 元紀 |
| ■14:05～15:00 | 「改革と産業・経済」
—米国におけるリマニュファクチャリング・ビジネス— | ATC Drivetrain LLCアジア代表 | 小川 輝夫 氏 |
| ■15:05～16:00 | 「イノベーションが日本を再生させる」
—米国、中国、イスラエルの事例がヒント— | 経済ジャーナリスト、メディアオフィス時代刺激人代表 | 牧野 義司 氏 |
| <休憩> | | | |
| ■16:10～16:50 | 「産業未来論から見た2050年」 | 産学官連携センター特任教授 | 千野 俊猛 |
| ■16:50～17:05 | 質疑応答 | | |
| ■17:05～17:10 | 閉会挨拶 | 産学官連携支援部門副部門長 | 森倉 晋 |

主催：電気通信大学 産学官連携センター 共催：電気通信大学産学官連携センター事業協力会 後援：一般社団法人目黒会(電気通信大学同窓会)

TO: FAX 番号 : 042-490-5727

電気通信大学産学官連携センター 殿

【申込締切：平成30年2月14日（水）】

電気通信大学産学官連携センター

第111回研究開発セミナー

参加申込書

参加者名	事業協力会会員番号

電気通信大学産学官連携センター事業協力会会員の皆さまは会員番号をご記入ください。

連絡先代表者芳名 : _____

貴社名等 : _____

御所属 : _____

ご連絡先 : 〒 _____

電話番号 : _____ FAX 番号 : _____

E-Mail : _____

* 参加証の配布は致しません。

当日参加される方は受付にて名刺を頂戴致します。

電気通信大学産学官連携センター事業協力会会員の皆さまへ

お手数ですが、会員証をご持参ください。

会員証のご呈示がないと 一般参加となります。